

プレゼンテーションをする
気象管制事業部の清水主査

アメリカ気象学会主催のシンポジウムでプレゼンテーション

明星電気は、米国コロラド州ウェストミンスターでアメリカ気象学会（AMS）主催の第17回 Symposium on Meteorological Observation and Instrumentation: SMOI（6月10日～13日）に参加しました。

SMOIは、気象観測と測器技術にフォーカスした世界最先端の会議で、例年アメリカ海洋大気庁（NOAA）をはじめ、気候監視のための基準高層観測ネットワーク（GRUAN）関係者、気象測器メーカーのVAISALAなどが参加しています。

当社は、新型GPSゾンデ“iMS-100”と開発中の特殊ゾンデ“Cloud Particle Sensor”（雲粒子センサ）のプレゼンテーションを行いました。両発表には多くの反響があり、世界最小のGPSゾンデiMS-100については、アメリカ大気研究センター（NCAR）の研究者から“ラジオゾンデのRevolutionになるかもしれない”というコメントをいただきました。

当社では、SMOIなどの世界最先端の会議の場で、高層観測のための革新的なソリューションを提供し続けていきます。

（当社営業担当：気象・管制事業部 営業部 前田 亮太）



乾杯の発声をする神野東北支店長

航空自衛隊の松島基地管制塔運用開始

明星電気は、昨年度に航空機と無線通信による離発着誘導を行う「タワー・コンソール装置J/FSW-2」を航空自衛隊松島基地に納入しておりましたが、新管制塔の運用開始に伴い、5月28日に運用開始式が開催されました。

当日は快晴の中、ブルーインパルス4機による編隊飛行も行われ、白いスモークの航跡できれいな弧を描き青空に映えていました。

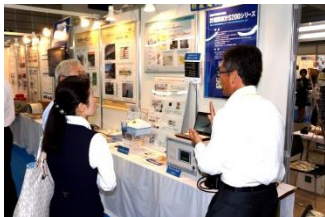
昭和34年6月に松島管制隊が発足し、前管制塔が昭和57年から平成26年3月まで運用され、今回の新管制塔で管制機数200万回を目指し、無事故での運用を達成しようとしています。当社のシステムは、管制塔と航空機間の通信をつかさどる重要な機能を有し、安全な飛行実現の要となっています。

東日本大震災から3年が経ち着々と復興が進んでいる中で、当社の機器が少しでも貢献できる事を祈念しております。

（当社営業担当：気象・管制事業部 営業部 津浦 靖弘）



中部ライフガードTEC2014



EE東北'14

中部ライフガードTEC、EE東北にIHIグループ各社と出展

5月22、23日、名古屋市のポートメッセ名古屋にて第2回「中部ライフガードTEC2014」が開催され、民間企業や国土交通省中部地方整備局、愛知県、名古屋市などが出展しました。中部地方では、東南海・南海地震への初期対応の必要性を強く認識しています。また局地的な気象変化による水害も多く発生しています。これらの状況から、いち早く災害・減災情報などを収集するニーズが高く、行政機関や地域住民だけでなく、自動車産業を中核とした企業・事業所が事業継続マネジメント（BCM）に役立てようとしています。

明星電気は、この展示会にIHI、IHIシバウラと共同ブースを出展し、QCAST®シリーズと計測震度計の組み合わせによる地震対策システムと小型気象計POTEKAを展示し、BCMや地域防災活動に活用できるシステム・機器として提案しました。

この他、6月5、6日に「活かそう新技術 復興から発展へ」をテーマにした東北地方整備局主催の「EE東北'14」へIHIインフラシステム、IHIインフラ建設、石川島建材とともに出展しました。

明星電気はこれからも安全・安心に寄与すべく、地震対策システムなどを通じ、広く減災に貢献してまいります。

（当社広報担当：営業統括部 販売サポートグループ 松永 喬）

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。